市内遺跡発掘調査概報 27

- 平成 30 年度調査の概要 -

史跡宇佐神宮境内 菱形池中島の護岸

2019

大分県宇佐市教育委員会

例　　言

1　本書は、宇佐市教育委員会が国庫・県費の補助を得て実施した平成 30 年度市内遺跡発掘調査事業に関する調査概要報告書である。

2　調査を実施した遺跡は第 1 表に示した遺跡である。

3　遺構記号については、『発掘調査のてびき』（文化庁文化財部記念物課 2010）に従った。
なお、図版等ではトレンチを TR と表記する。

4　本書に示した緯度・経度の数値は発掘調査の際に設置した世界測地系による杭によるものと、国土地理院の地図閲覧サービス（ウォッちず）の数値を参照したものがある。

5　本書の執筆は弘中正芳と甲斐安寿生、矢部翔平が行い、編集は矢部が行った。
文責は文末に記す。

国土地理院発行 1/500,000 地方図「九州」をもとに作成

第 1 図　宇佐市位置図 (S=1/1,000,000)

1 はじめに

周知の埋蔵文化財包蔵地内において、土木工事等の開発工事を行う場合は、文化財保護法第 93 条や第 94 条に基づき、届出・通知が必要となる。社会教育課文化財係は、開発行為の内容を確認し、既往調査の成果をもとに事前審査を行い、慎重工事・工事立会・発掘調査の所見を大分県教育庁文化課（以下、県文化課）あてに進達し、対応については県文化課の方針に従っている。

なお、埋蔵文化財の存在状況の確認調査が必要な場合には、本事業内で事前に試掘・確認調査を行って遺跡の有無を確認し、事後の行程を円滑に進めている。

調査団の構成

調査主体者　宇佐市教育委員会
調査責任者　宇佐市教育委員会教育長　竹内新
調査指導委員　真野和夫（元大分県立歴史博物館副館長）
武末純一（福岡大学人文学部教授）
玉田芳英（奈良文化財研究所都城発掘調査部部長）
田中裕介（別府大学文学部教授）
宇佐市教育委員会　教育次長　若山雅敏（平成 30 年 12 月 31 日まで）
佐藤良二郎（平成 31 年 1 月 1 日から、兼社会教育課長）
社会教育課長　佐藤良二郎
課長補佐（文化財係総括）川谷浩　主　幹　矢野貴晃
主　任　弘中正芳　主　事　中野秀俊
技　師　甲斐安寿生　技　師　矢部翔平

調査方針

調査の方法は、グリッドまたはトレンチを主とした遺構確認作業が中心である。トレンチ等で調査区を設定後、バックホーで表土や旧耕作土を除去し、遺構の検出や掘り下げについては人力で行った。また、必要に応じてトレンチを拡張した。

平成 16 年 10 月 26 日付けで文化庁が刊行した「行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての基準（報告）」を遵守しつつ、調査指導委員会より指導を受けて調査方針を決定し、確認した遺構・遺物の取り上げは最小限度に止めている。

第１表 (1)　発掘届等提出遺跡一覧

番号	所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経
			市町村	遺跡番号		
1	穴井遺跡	宇佐市大塚 441 番 7	44211	211343	-	-
2	虎尾古墳群	宇佐市松崎 1896 番	44211	211178	-	-
3	山ノ壁敷遺跡	宇佐市下敷田 667 番 1、669 番 5	44211	211332	-	-
4	樋田遺跡	宇佐市中須 71-6	44211	211124	-	-
5	樋田遺跡	宇佐市中須 73 - 1	44211	211124	-	-
6	井手ノ上古墳	宇佐市大塚 489、490-1、490-2、491、491-2	44211	211129	-	-
7	吉松遺跡	宇佐市吉松 58-30	44211	211044	-	-
8	中原遺跡	宇佐市大塚 482-1、482-5	44211	211127	-	-
9	葛原城跡	宇佐市葛原 52、52-4	44211	211229	-	-
10	別府遺跡	宇佐市別府	44211	211125	-	-
11	城遺跡	宇佐市宮熊 941、940	44211	211002	33° 34′ 26.6″	131° 17′ 13.9″
12	樋田遺跡	宇佐市中須 47-10	44211	211124	-	-
13	樋田遺跡	宇佐市中須 47-6、47-11、50-6、50-8、50-9、50-11	44211	211124	-	-
14	樋田遺跡	宇佐市中須 70-7	44211	211124	-	-
15	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀	44211	211019	33° 33′ 20.5″	131° 21′ 29.2″
16	宇佐町遺跡	宇佐市北宇佐 1544、1546	44211	211334	33° 31′ 46.4″	131° 22′ 12.4″
17	樋田遺跡	宇佐市中須 72-7	44211	211124	-	-
18	川島遺跡	宇佐市法鏡寺 503 ほか	44211	211220	33° 31′ 29.9″	131° 20′ 59.2″
19	大根川遺跡	宇佐市塩野 1107	44211	211078	-	-
20	平田城跡	宇佐市森山 1052-1	44211	211238	33° 33′ 22.6″	131° 19′ 45.1″
21	宇佐町遺跡	宇佐市北宇佐 1601-1、1601-12、1601-14	44211	211334	33° 31′ 40.1″	131° 22′ 12.2″
22	宗禅寺遺跡	宇佐市安心院町新原 541-1 ほか	44211	211285	-	-
23	安心院地区条里跡	宇佐市安心院町下毛 2070-1、2069-1、2069-3、2062-9	44211	211206	-	-
24	中川遺跡	宇佐市上田 1352、1353	44211	211328	-	-
25	善光寺境内遺跡	宇佐市下時枝 237	44211	211342	33° 33′ 34.2″	131° 18′ 19.7″
26	樋田遺跡	宇佐市閘	44211	211124	-	-
27	宇佐地区条里跡	宇佐市江須賀 4112-2	44211	211019	-	-
28	富山遺跡	宇佐市富山 489 ― 10	44211	211005	-	-
29	樋田遺跡	宇佐市中須 70 ― 9	44211	211124	-	-
30	樋田遺跡	宇佐市閘 4 ― 10	44211	211124	-	-
31	穴井遺跡	宇佐市大塚 426、427 - 2、430、556 - 1、426、425	44211	211343	33° 30′ 56.2″	131° 20′ 03.1″
32	富山遺跡	宇佐市富山 1201 - 1	44211	211005	-	-
33	井手ノ原遺跡 大平石棺群 高城古墳	宇佐市安心院町木裏 985-23、985-24	44211	211271 211272 211273	-	-
34	吉松遺跡	宇佐市城井 1973-5	44211	211044	-	-
35	樋田遺跡	宇佐市閘 4 ― 6	44211	211124	-	-
36	樋田遺跡	宇佐市中須 71-5	44211	211124	-	-
37	樋田城跡	宇佐市樋田 136-2	44211	211241	-	-
38	安心院地区条里跡	宇佐市安心院町上市 245	44211	211206	-	-
39	五久遺跡	宇佐市下敷田 33-1、33-3、34-1、35-1	44211	211004	-	-
40	尾俣遺跡	宇佐市宮熊 750-1、750-4、750	44211	211001	33° 34′ 29.1″	131° 16′ 49.8″
41	井手ノ上古墳	宇佐市大塚	44211	211129	-	-
42	樋田遺跡	宇佐市中須 73 - 1	44211	211124	-	-
43	鶴先遺跡 宇佐八幡祭礼地	宇佐市上高 827 ほか	44211	211037 211038	33° 32′ 43.6″	131° 18′ 37.6″
44	井原古墳群	宇佐市中須 527 - 1、523、524	44211	211128	33° 30′ 49.9″	131° 20′ 15.4″

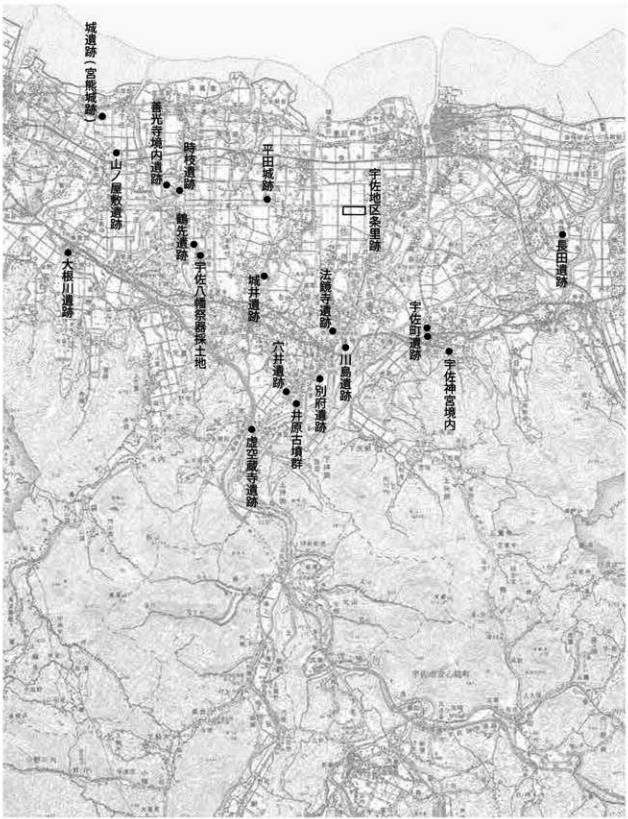
調査原因 （工事内容）	取扱い	調査期間	調査面積	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	工事立会	20180918	213.42 ㎡	－	－	－	遺跡なし
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
宅地造成	その他（注業）	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	工事立会	20180802	211.96 ㎡	－	－	－	遺跡なし
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	その他（注業）	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
道路	工事立会	20180522	3800 ㎡	奈良・平安・中世	溝、柱穴	磁器、ガラス	県埋文立会
個人住宅	工事立会	20180718	329.88 ㎡	－	－	－	遺跡なし
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
店舗	発掘調査	20180628 ～20180713	20394.41 ㎡	－	－	須恵器、陶磁器	遺跡なし
その他建物（スクラップ上屋）	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	工事立会	20180731	667.76 ㎡	－	－	－	遺跡なし
店舗	工事立会	20180720	2152.02 ㎡	奈良・平安	柱穴	土師器	－
その他開発（太陽光発電）	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
その他開発（地盤調査）	立会調査	20180705 ～20180716	39600 ㎡	－	－	－	遺跡なし
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
その他開発（店舗駐車場	慎重工事	－	－	－	－	－	－
その他建物（テント倉庫）	その他 （無断着工）	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
宅地造成、集合住宅	工事立会	20180822	2687.07 ㎡	－	－	－	遺跡なし
その他開発（太陽光発電）	慎重工事	－	－	－	－	－	－
その他開発（太陽光発電）	慎重工事	－	－	－	－	－	発掘調査から慎重工事に変更
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
その他建物（児童クラブ）	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	工事立会						
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
個人住宅	慎重工事	－	－	－	－	－	－
農業基盤整備事業	発掘調査	20181106 ～20181128	119.153 ㎡	古墳時代から古代？	－	須恵器片等	遺跡なし
宅地造成	工事立会	20181211	1688.8 ㎡	－	－	－	遺跡なし

第１表 (2)　発掘届等提出遺跡一覧

45	鎌田遺跡	宇佐市中原 182、183-5、205-5、205-6	44211	211124	－	－
46	弁手ノ上遺跡	宇佐市山本 33-1、34-1	44211	211129	－	－
47	宇佐地区桑里跡	宇佐市江須賀	44211	211019	33° 33′ 24.1″	131° 21′ 29.2″
48	川部遺跡	宇佐市川部 1951	44211	211067	33° 32′ 15.7″	131° 21′ 31.8″
49	笹ヶ平遺跡	宇佐市安心院町笹ヶ平	44211	211300	33° 26′ 26.1″	131° 24′ 20.8″
50	城井遺跡	宇佐市城井 1928-2	44211	211046	33° 32′ 28.3″	131° 19′ 42.9″
51	川部遺跡	宇佐市川部 1591	44211	211067	－	－
52	宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐 2154-5	44211	211334	－	－
53	別府遺跡	宇佐市別府 45-1	44211	211125	－	－
54	末丸遺跡	宇佐市閂 30-1	44211	211245	－	－
55	塔ノ本遺跡	宇佐市大塚 491-3	44211	211221	－	－
56	弁手ノ上古墳	宇佐市大塚 489-3	44211	211129	－	－
57	鎌田遺跡	宇佐市鎌田 72-1	44211	211124	－	－
58	別府遺跡	宇佐市別府 349-1	44211	211125	33° 31′ 07.2″	131° 20′ 34.5″
59	別府遺跡	宇佐市別府 349-2	44211	211125	33° 31′ 07.6″	131° 20′ 34.4″
60	松ヶ平遺跡	宇佐市四日市 4266-12	44211	211113		
61	西原遺跡	宇佐市上時枝 591-3 ほか	44211	211236		
62	大根川遺跡	宇佐市佐野 1469	44211	211978	33° 32′ 46.8″	131° 16′ 44.1″
63	中原遺跡	宇佐市中原 303-8	44211	211127	－	－
64	中洲城跡	宇佐市中洲町２丁目 11-2	44211	211021		
65	城井遺跡	宇佐市城井 1928-2	44211	211046	－	－
66	長田遺跡	宇佐市糠木	44211	211213	33° 32′ 56.8″	131° 24′ 11.4″
67	川部遺跡	宇佐市川部 1591	44211	211067	－	－
68	宇佐町遺跡	宇佐市南宇佐 2127-10	44211	211334		
69	法鏡寺遺跡	宇佐市法鏡寺	44211	211054	33° 31′ 45.4″	131° 20′ 47.4″
70	宇佐地区桑里跡	宇佐市江須賀 4094-6 ほか	44211	211019	－	－
71	城井遺跡	宇佐市城井 1928-5	44211	211046	－	－
72	城遺跡（宮熊城跡）	宇佐市宮熊 1324-1,1325-1	44211	211002		
73	城遺跡（宮熊城跡）	宇佐市宮熊 862	44211	211002		
74	安心院地区桑里跡	宇佐市安心院町下毛 1765、1766-2、1747-1、1747-2	44211	211286	－	－
75	鎌田遺跡	宇佐市鎌田 76-1	44211	211124	－	－
76	六十塚遺跡 古代豊前遺跡	宇佐市富山 159	44211	211024 203138	－	－
77	中原遺跡 広峰氏切妻跡	宇佐市中原 457、447-3	44211	211127 211239	－	－
78	鎌田遺跡	宇佐市中原 59-4	44211	211124	－	－
79	城井遺跡	宇佐市城井 1928-7	44211	211046	－	－
80	虚空蔵寺遺跡	宇佐市山本 1604-1	44211	211131	33° 30′ 29.4″	131° 19′ 30.0″
81	城井遺跡	宇佐市城井 1928-10、1928-11	44211	211046	－	－
82	富山遺跡	宇佐市富山 973-2	44211	211005	－	－
83	時枝隊屋跡	宇佐市下時枝 500-3、500-4	44211	211012		
84	中原遺跡	宇佐市中原 303-1、303-7 の一部	44211	211127	－	－
85	鎌田遺跡	宇佐市閂 7-1	44211	211124		
86	宇佐地区桑里跡	宇佐市江須賀 4049-3、4050-1	44211	211019		

※空白は未調査

宅地造成	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
道路	工事立会	20181026	3200 ㎡	–	–	–	追跡なし 県埋文立会
電気	発掘調査	20181017 ～20181022	25 ㎡	–	–	–	追跡なし
道路	工事立会	20181106	640 ㎡	–	–	–	追跡なし 県埋文立会
宅地造成	発掘調査	20181003 ～20181015	2420.66 ㎡	古墳時代？	土坑，柱穴	須恵器，土師器，陶磁器，土錘など	–
電気	慎重工事	–	–	–	–	–	–
その他建物 （ガレージ）	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
その他建物 （車庫）	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会	20190307	500 ㎡	不明	柱穴	–	–
個人住宅	工事立会	20190307	483 ㎡	不明	柱穴	土器片（黒保）	–
個人住宅	工事立会						
個人住宅	工事立会						
個人住宅	工事立会	20190322	41322 ㎡	不明	柱穴	土器片	
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会						
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
畜産基盤整備事業	発掘調査	20190212 ～20190218	67.7ha	–	–	須恵器片等	追跡なし
電気	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会						
その他関発 （排水施設設置）	工事立会	20190213 ～20190215	30 ㎡	古代？	土坑	–	
その他建物 （倉庫）	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会						
個人住宅	工事立会						
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
その他関発 （太陽光発電所）	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会	20190228	12392 ㎡	–	–	–	追跡なし
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
その他関発 （太陽光発電所）	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	工事立会						
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
個人住宅	慎重工事	–	–	–	–	–	–
その他建物 （事務所）	工事立会						



第２図　調査地点位置図 (S=1/27,000：上が北)

2 今年度調査の概要

平成 30 年度に提出された文化財保護法 93 条に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内での届出は 86 件、94 条に基づく発掘通知は 9 件である。前述の対応内訳は、発掘調査 5 件、立会調査 24 件、慎重工事 57 件（第 1 表参照）である（数値はいずれも平成 31 年 3 月 22 日時点）。

今年度に本事業で対応した調査件数は、前年度の申請分を含んで、試掘・確認調査 9 件、立会調査 13 件である。以下、調査を行った遺跡ごとの所見を示す。

川島遺跡は、個人店舗建設予定地において確認調査を実施した。詳細は次章に記す。

善光寺境内遺跡は、地盤調査の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

宇佐町遺跡は、個人住宅と店舗建設に伴い立会調査を実施した。個人住宅の浄化槽埋設部では、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。店舗建設地では、浄化槽埋設部 (2m × 1.8m) を 75㎝掘り下げて遺構の有無を確認した。調査の結果、遺構検出面で 4 つのピットを検出した。ピット内及びその周辺からは、古代に属すると思われる土師器片が出土した。遺構は写真で記録保存を行い、工事着工とした。

時枝遺跡（昨年度届出）は、個人住宅建築に伴う浄化槽埋設工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

平田城跡は、個人住宅建築工事に伴う浄化槽埋設工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

城遺跡（宮熊城跡）は、個人住宅建築に伴う浄化槽埋設工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

穴井遺跡、井原古墳群は、宅地造成に伴うＬ字擁壁設置工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

山ノ屋敷遺跡は、個人住宅建築に伴う浄化槽埋設工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

城井遺跡は、宅地造成に際して確認調査を実施した。詳細は次章に記す。

鶴先遺跡、宇佐八幡祭器採土地は、圃場整備に際して確認調査を実施した。詳細は次章に記す。

長田遺跡は、圃場整備に際して確認調査を実施した。詳細は次章に記す。

宇佐地区条里跡は、圃場整備に際して確認調査を実施した。詳細は次章に記す。

虚空蔵寺遺跡では、個人住宅建築に伴う基礎工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかったため工事着工とした。

別府遺跡では、個人住宅建築に伴い 2 件の立会調査を実施した。それぞれの浄化槽埋設部 (2m × 1m) を地表から 100㎝から 120㎝掘り下げて遺構の有無を確認した。ともに土層は造成土の下に旧耕作土、基盤層が堆積しており、その下で地山に達した。1 件目ではピット 3 基、2 件目ではピット 4 基を検出したが、遺物の出土はなく時期は不明である。遺構は写真で記録保存を行い、工事着工とした。

大根川遺跡は、個人住宅建築に伴う浄化槽埋設工事の際に立会調査を実施した。調査の結果、2 基のピットが検出され、時期不明の土器が発見された。遺構は写真で記録保存を行い工事着工とした。

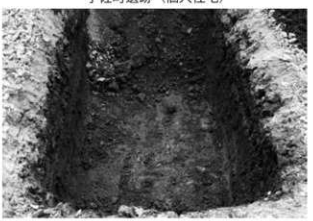
史跡宇佐神宮境内では、現状変更に伴う調査として 4 件の発掘調査を実施した。詳細は次章に記す。

上記調査のほか、本事業対応ではないが、公共工事に伴う確認調査を川部遺跡（公園整備）で、立会調査を法鏡寺廃寺跡（排水溝設置）で実施した。（矢部）

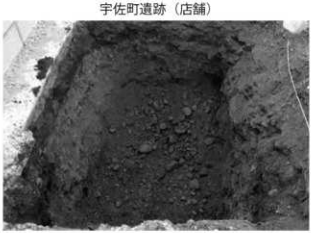
善光寺境内遺跡（地盤調査）

宇佐町遺跡（個人住宅）

宇佐町遺跡（店舗）

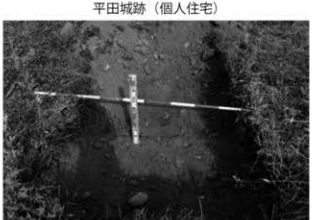


時枝遺跡（個人住宅）

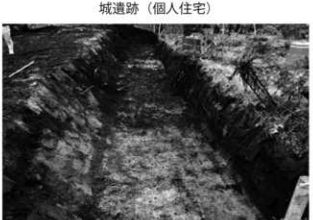


平田城跡（個人住宅）

城遺跡（個人住宅）



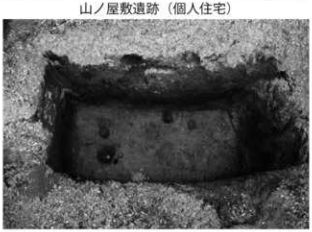
穴井遺跡（宅地造成）



井原古墳群（個人住宅）

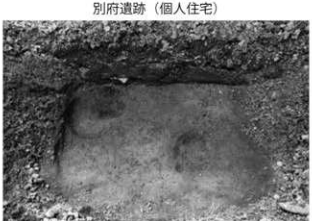
山ノ屋敷遺跡（個人住宅）

虚空蔵寺遺跡（個人住宅）



別府遺跡（個人住宅）

別府遺跡（個人住宅）



大根川遺跡（個人住宅）

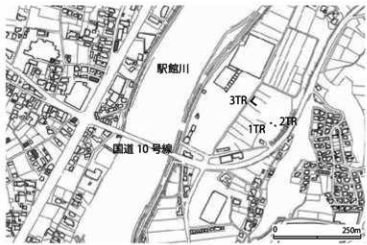
3 発掘調査の成果

(1) 川島遺跡

調査に至る経緯

川島遺跡は、宇佐市大字法鏡寺に所在しており、駅館川東側の自然堤防上に位置する集落遺跡である。今回の調査区西側における商業施設建設に伴う調査では、弥生時代の住居、貯蔵穴、甕棺墓、溝、古墳時代の住居が発見されている。

今回は、過去の調査区上にある商業施設の東側で計画された店舗建設予定箇所において確認調査を実施した。



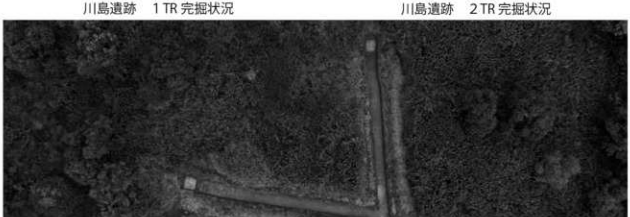
第 3 図　川島遺跡調査区配置図（S=1/10000）

調査の概要

店舗建設地点南側に 1 トレンチ (2m × 2m)、2 トレンチ (2m × 1.5m) を、西側に L 字形の 3 トレンチ (南北 26m、東西 23m) を入れ、遺構・遺物の有無を確認した。1 トレンチ、2 トレンチは、それぞれ 180cm 掘り下げて遺構の有無を確認したが、調査区全体が現代の造成土であった。3 トレンチは、地表から 70cm まで掘り下げて精査した。包含層からは須恵器や近世・近代の陶磁器が発見されたが、いずれも流れ込みによるものである。遺構は検出されなかったため工事着工とした。(矢部)

川島遺跡　1TR 完掘状況

川島遺跡　2TR 完掘状況



川島遺跡　3TR 完掘状況（上が東）

（2）鶴先遺跡・宇佐八幡祭器採土地

調査に至る経緯

両遺跡は宇佐市上高に所在する。鶴先遺跡は伊呂波川東側の、低位段丘上に位置し、宇佐八幡祭器採土地は鶴先遺跡の南東約 650m の微高地上に位置する。両遺跡とも過去に本調査を実施した記録はなく、遺跡の詳細は不明である。

今回は大分県北部振興局による布津原地区圃場整備工事に伴い、事前に確認調査を実施した。

第 4 図　鶴先遺跡・宇佐八幡祭器採土地調査区配置図

（S=1/12000）

調査の概要

鶴先遺跡における調査は、工事による掘削が最も深くなる箇所に東西約 2m、南北約 35m の調査区を設定した。

調査の結果、地表下約 40cm の位置で黄褐色の地山に達した。過去の圃場整備工事等により調査区の大部分が撹乱を受けており、調査区内で遺構・遺物は確認できなかった。なお、調査区上及びその周辺より古墳時代から古代の土師器片等 4 点を表面採集している。

工事による掘削が地山まで達しないことを確認したため、工事着工とした。

宇佐八幡祭器採土地における調査は、工事による掘削が最も深くなる箇所に南北約 2m、東西約 30m の調査区を設け、工事の最大掘削深度まで掘り下げた。

調査の結果、地表下約 25cm まで掘り下げたが、地山まで達さず遺物の出土もなかったため、工事着工とした。（甲斐）

鶴先遺跡　完掘状況（上が東）

宇佐八幡祭器採土地　完掘状況（東から）

鶴先遺跡　表採遺物

(3) 史跡宇佐神宮境内

調査に至る経緯

宇佐神宮は宇佐市大字南宇佐に所在する。神亀２（712）年に現在の場所に社殿が建立される一方で、天平 10（738）年には境内の西側に神宮寺である弥勒寺の金堂と講堂が建立されたことが知られている。本殿は国宝に指定されていることに加えて、境内全体が国指定史跡となっている。なお、弥勒寺の建物は近世の廃仏毀釈や近現代の造営により消失しており、現在では一部の建物の礎石や基壇が残るのみとなっている。

参集殿西側通路拡幅、職員駐車場遮蔽板塀設置、菱形池浚渫工事、放生池北側給水工事の４件に際して発掘調査を実施した。

調査の概要

参集殿西側通路拡幅では既存の縁石及びアスファルト舗装を撤去した際に精査を行った。調査区全域が砕石による現代の造成土であり、遺構面に達しないことが判明したため工事着工とした。なお、調査区内からは古代の瓦や近代の陶磁器などが入り混じって出土した。

職員駐車場遮蔽板塀設置では、板塀の基礎コンクリート（幅 25 ｃｍ×奥行 25 ｃｍ×高さ 45 ｃｍ）設置個所に合わせて 39 か所で立会調査を行った。工事箇所は弥勒寺講堂から北へ 10 ～ 20 ｍほどの位置であり、平成 28 年度の調査で常行堂と思われる建物の礎石が発見された場所付近である。

上述の礎石が発見された場所から東へ約 21 ｍの位置に設置した調査区（16 トレンチ）の東壁では、現況地表の約 20cm 下位から幅 30cm 程度の石材が出土した。礎石の可能性もあるが、部分的な検出であり詳細は不明である。この他に、布目瓦等が調査区内から出土している。

菱形池浚渫工事では、浚渫工事に際して確認調査を実施した。菱形池南西側の水を抜いた後、能舞台につながる池中の島の北側から石垣とその護岸用の杭が発見された。石垣は人頭大の石材、杭には直径 10cm 程の松材がそれぞれ使用されている。島の南側は直径 50cm を超える大型の石材が並べられているのに対して、北側では比較的小型の石材が使用されていることから、基底部付近に杭を打ち込むことで石垣のはらみやズレを防止する目的があったことが伺える。なお、部分的な浚渫であり、池からの完全な排水が不可能であったため石垣の基底部は確認できなかった。この他にも、放生池から菱形池への給水口付近にも同様な木杭が打ち込まれていることが確認できた。

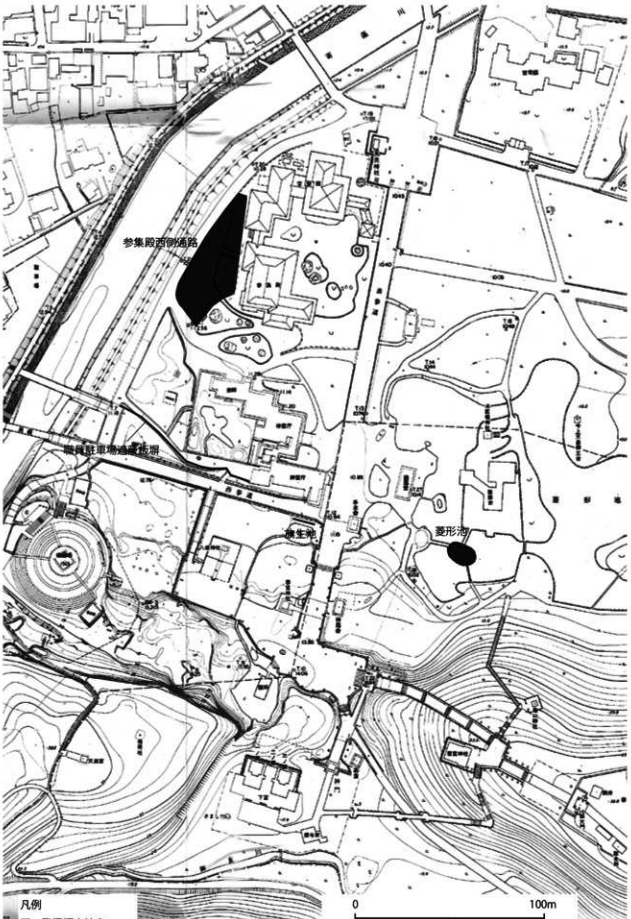
上記の遺構は石垣の積み方や絵図等の記録から、昭和７年から同 16 年にかけて行われた大造営の際の所産と考えられる。発見された遺構は写真等による記録を行い、協議により現地で保存することが決まったため工事着工とした。

放生池北側給水工事（第７図）では、初沢池への給水を確保するための管路設置箇所において、幅約１ｍ×長さ約 16 ｍのトレンチを設定した。調査区から約 4 m北側には宇佐神宮の西参道があり、弥勒寺東大門の礎石が現在でも残されている。

表土下約 45cm の位置で、溝状遺構２基を検出した。SD １は幅 1.8 ｍであり、遺構の深さを確認するために部分的に掘り下げた。検出面から約 15cm 下まではしまりの悪い砂層 (10YR5/4) が堆積しており、その下位にはややしまりのある粘質土 (10YR4/4) が 25cm 程堆積していた。隣接する放生池からの湧水により、それ以上の掘り下げはできなかった。SD １の延長線上には、前述した門の礎石があり、弥勒寺東大門からつながる区画遺構があった可能性が高い。

SD2 は SD1 から約１ｍ西で検出した。内部は締りの強い粘質土 (10YR6/4) が 15cm 程堆積しているのみであったが、瓦等が少量出土した。

管路を設置するのは遺構検出面よりも 20cm 程上位であり、遺構への影響がないことが確認できたため、充分な盛土で保護したうえで、工事着工とした。(弘中)



第 5 図　史跡宇佐神宮境内　調査区位置図（S=1/2000）

参集殿西側通路　完掘状況（南東から）

参集殿西側通路　完掘状況（北から）

遮蔽用板塀　9TR 完掘状況

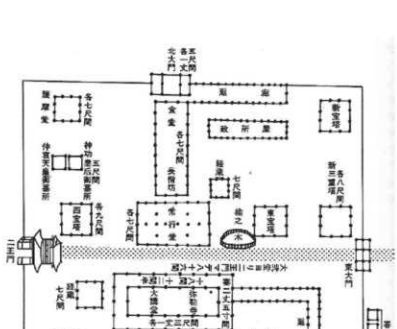
遮蔽用板塀　13TR 完掘状況

遮蔽用板塀　16TR　土層断面（東から）

遮蔽用板塀　16TR 完掘状況（北から）

遮蔽用板塀　10TR 出土　瓦

遮蔽用板塀　13TR 出土　瓦



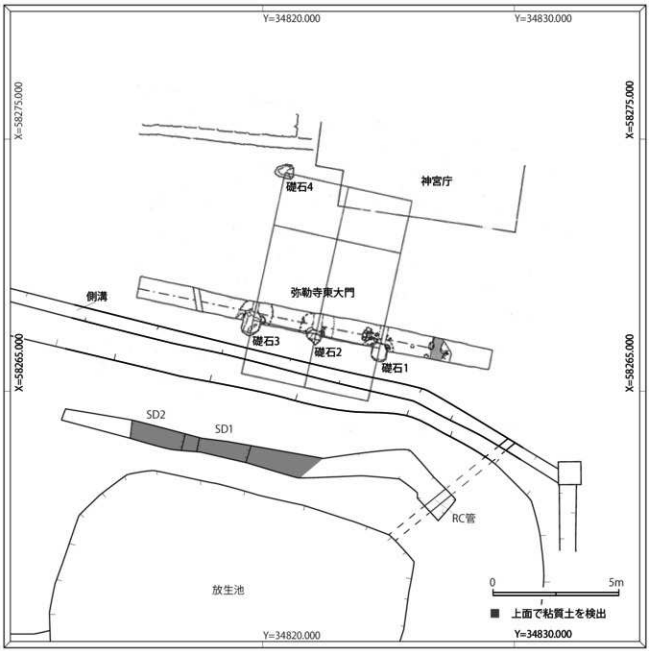
第６図　史跡宇佐神宮境内　駐車場遮蔽板塀設置　調査区及び応永期の弥勒寺建物配置図
（S=1/200、『弥勒寺跡』大分県立風土記の丘歴史民俗資料館 1989 より転載、一部改編）

史跡宇佐神宮境内　菱形池中島　護岸検出状況（西から）

菱形池中島　乱杭検出状況（西から）

菱形池中島　乱杭検出状況（南西から）

菱形池中島　護岸検出状況（南から）



第７図　史跡宇佐神宮境内　放生池北側給水工事　調査区及び弥勒寺東大門位置図
（S=1/150、東大門付近の調査区は『弥勒寺跡』大分県立風土記の丘歴史民俗資料館 1989 より合成）

放生池北側　遺構検出状況（西から）

放生池北側　SD1　検出状況（南から）

(4) 城井遺跡

調査に至る経緯

城井遺跡は、宇佐市大字城井に所在し、駅館側西側に発達した四日市台地の低位段丘上に位置する。調査対象地周辺では過去に、調査対象地南東約 300m の場所に位置する市営城井団地の建替え（平成 6 年）及び新築（平成 17 年）に伴う発掘調査の際に、弥生時代後期の竪穴住居が計 8 軒、奈良時代終わりから平安時代初め頃の掘立柱建物跡が計 14 棟、またトイレ状遺構等が確認されている。

さらに城井団地の北西側約 100m の場所に位置する平成 29 年の宅地造成に伴う発掘調査でも、古代の所産と思われる掘立柱建物跡の柱穴が 6 基確認されている。

第 8 図　城井遺跡調査区配置図（S=1/5000）

今年度の調査では、宅地造成に伴い下水道管の埋設工事が行われる予定であったため、下水道管埋設位置に南北約 2m、東西約 31m の調査区を設定した。

調査の概要

調査の結果、地表下約 30cm の深さで、ピット 11 基と 3 基の土坑を検出した。

調査区西側で検出した SK1 は南北約 1.5m、東西約 2.0m の楕円形であり、深さ約 70cm が残存していた。SK1 は、検出面から約 10cm 程は耕作による攪乱を受けており、攪乱層から近現代の陶磁器片及び、古代の須恵器片等が出土したが遺構内からの遺物出土はなかった。

調査区中央部の SP4 は、直径約 40cm、深さ約 25cm が残存していた。埋土から弥生時代後期の土器片が出土している。なお、SP4 の南東側のピット SP5（出土遺物無し）とは規格性を持って配され、規模・深さを同じくすることから同建物基礎の可能性が高い。

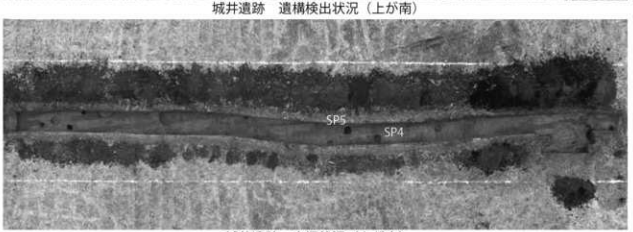
同じく調査区中央部の SP6 は、直径約 30cm、深さ約 10cm が残存していた。埋土から古代の土師器片及び土錘が出土している。

他に明確に遺構に伴う遺物はないが、調査区周辺より古墳時代後期から古代の須恵器片、土師器片等を表面採集している。検出された遺構は、写真・図面による記録保存を行い工事着工とした。（甲斐）

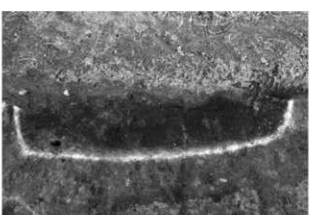
城井遺跡　SP6 出土土錘・土師器片

城井遺跡　表採遺物

城井遺跡　遺構検出状況（上が南）



城井遺跡　完掘状況（上が南）



城井遺跡　SK1 検出状況（南から）

城井遺跡　SK1 完掘状況
（南から　遺構検出後北側へ拡張）

城井遺跡　SP4、SP5 完掘状況
同建物基礎か

(5) 長田遺跡

調査に至る経緯

長田遺跡は、宇佐市嬉木に所在し、寄藻川西側の平野部に位置する。長田遺跡及びその周辺は、江戸時代新田開発時の埋立地とされ、過去に実施した調査対象地に近接する住宅建設の際の立会調査では近世の陶磁器片等が確認されている。今回は、大分県北部振興局による嬉木地区の大規模圃場整備工事に伴い、事前に確認調査を実施した。

調査の概要

調査は、暗渠排水の設置箇所（地表下 60㎝に設置）を中心に東西約 1.7m、南北約 25m ～ 30m の調査区を 3 箇所設定した。

調査の結果、地表下 80㎝まで掘り下げたが、遺構は確認できなかった。1、2TR では、表土から約 60cm 下で灰オリーブ色のシルト層を確認し、80cm 下まで同層が続いた。

3TR では、地表約 40cm 下から 80cm 下まで砂層の堆積が見られた。出土遺物は、1TR から近代の陶磁器片と土師器片が出土した他、2TR より古墳時代頃の須恵器片が 1 点出土したのみである。これらの遺物はいずれも表土である畑耕作土から出土しており、過去の造成で耕作土を運び込んだ際に混入したものであると思われる。

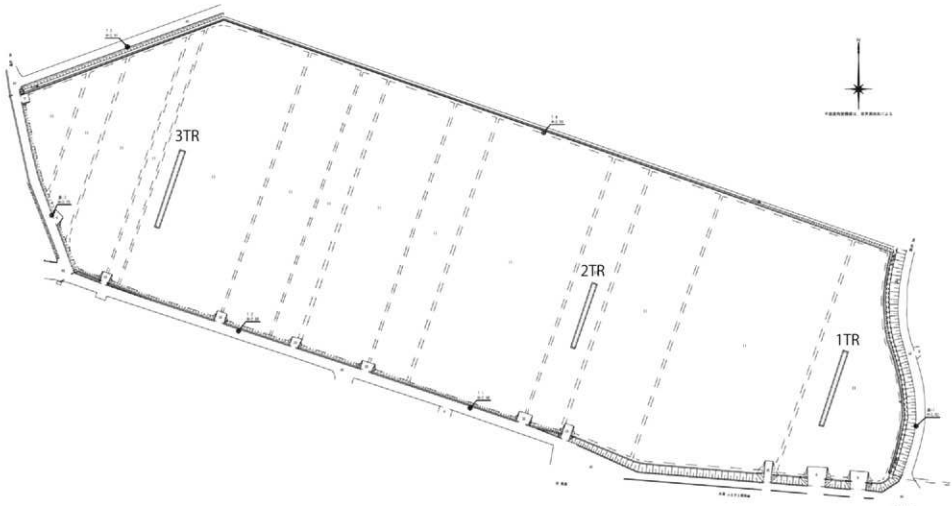
以上調査により、当該地に遺跡がないことを確認したため工事着工とした。（甲斐）

長田遺跡　1TR 完掘状況（南から）

長田遺跡　2TR 完掘状況（北から）

長田遺跡　3TR 完掘状況（南から）

長田遺跡　2TR 出土須恵器片



第９図　長田遺跡　調査区配置図（S=1/1500）

(6) 宇佐地区条里跡

調査に至る経緯

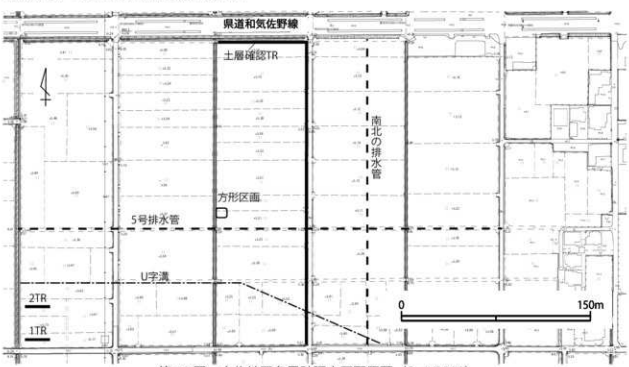
宇佐地区条里跡は宇佐市大字川部及び江須賀に所在し、駅館川左岸に広がる宇佐平野の中央部に位置している。古代から続く条里跡であるが、昭和 14 年から同 20 年にかけては宇佐海軍航空隊の飛行場として使用された場所でもある。

平成 28 年度から継続的に圃場整備が行われており、工事は本年度が最終年度となる。平成 28 年度の調査では中世の土坑や柱穴、平成 29 年度調査では近代の飛行場造成に伴う排水施設等が発見された。

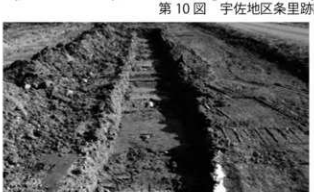
調査の概要

工事対象地内で幅 1.5 m、長さ 20 mの調査区を２箇所設置した。いずれの調査区でも、表土から 40cm 程度掘り下げて精査を行った。条里に関する遺構は検出されなかったが、旧飛行場が建設された際に設置されたと思われる南北方向に伸びる素掘りの暗渠溝が９基発見された。暗渠溝は幅１～ 1.5 mで、２m程の間隔を空けて設置されており、内部は人頭大の円礫や角礫で充てんされている。

近代より前の遺構が検出されておらず、工事による掘削では影響がないことが判明したため工事着工とした。なお、調査区内に関しては図面と写真により記録保存を行っている。この他にも、前年に引き続き宇佐海軍航空隊の建設時に設置された排水施設や飛行場内部の区画溝などが発見されたため、随時立会を行い写真により記録した。(弘中)



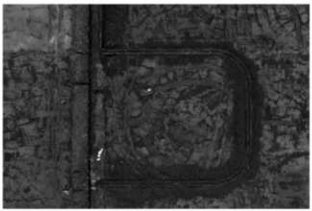
第 10 図　宇佐地区条里跡調査区配置図 (S=1/3000)



宇佐地区条里跡　1TR 完掘状況

宇佐地区条里跡　2TR 完掘状況

宇佐地区条里跡　旧飛行場内部の盲暗渠（北から）



宇佐地区条里跡　旧飛行場内部の方形区画（上が北）

宇佐地区条里跡　旧飛行場内部のＵ字溝（西から）

宇佐地区条里跡　旧飛行場内部の排水管（北から）

宇佐地区条里跡調査対象地全景（南から）

報 告 書 抄 録

ふりがな	しないいせきはっくつちょうさがいほう　27
書　名	市内遺跡発掘調査概報 27
副書名	平成 30 年度調査の概要
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	矢部翔平、弘中正芳、甲斐安寿生
編著機関	宇佐市教育委員会
所在地	〒 879-0492　大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1　TEL 0978－32-1111
発行年月日	西暦 2019 年 3 月 29 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード 市町村	 遺跡番号	北　緯	東　経	発掘期間	発掘 面積 (㎡)	調査原因
第 1 表に同じ								

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
第 1 表に同じ					

要　　約	平成 30 年度に実施した 9 件の確認調査、13 件の立会調査の概要報告書である。

平成 31 年 3 月 4 日　印刷
平成 31 年 3 月 29 日　発行

市内遺跡発掘調査概報 27

平成 30 年度調査の概要

著作権所有　大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1
発 行 者　宇佐市教育委員会

印 刷 者　明治印刷
大分県宇佐市長洲 607
TEL （0978）38-0135